

# こぶしの風

(題字：第二こぶし園 小澤直季さん)

第16号 平成27年11月10日発行

発行：社会福祉法人信濃こぶし会  
 広報誌こぶしの風編集委員会  
 〒399-3202 長野県下伊那郡豊丘村神稲4026番地1  
 電話(0265)35-8511 FAX(0265)35-9016  
 URL <http://kobushikai.or.jp/>  
 E-mail [kobushi@dia.janis.or.jp](mailto:kobushi@dia.janis.or.jp)

ほら! 紅いでしょ おいしそうでしょ!



アイビス:座光寺パノラマファーム大門にて

## 目次

3,200万円余の大型補正 多目的利用施設を建設 .....	2P
法人研修会 今回は、利用者の性について再確認 .....	3P
第6回 こぶしまつり コンパクト=一体で盛り上がり .....	4P
ぼっほあーと新たに「笑みの里」、「かざこしの里」で開催 .....	4P
パドルダック・アイビス めずらしいカエル、あめたろうを体験 .....	5P
SONNへ5人のアスリート参加 高度なテクニック発揮 .....	6P
地震や土砂災害を想定し避難訓練を実施 .....	6P
熊谷精機株で頑張る山田修司さん .....	7P
職員の素顔 職員の動き 編集後記 .....	8P



どんぐりなかまたち 作:こぶし園 金田恭兵さん

安心して暮らせる地域をつくるために

# 3,200万円余の大型補正 多目的利用施設を建設

理事長 片桐 秀人

先月の理事評議員会で総額約3,200万円の補正予算の承認を頂きました。本来なら当初予算に計上すべきものでありますが、補正予算で承認頂くことになった経緯を説明致します。

まず一点は、多目的利用のできる施設を建設することとなったためです。これは今年度第二こぶし園、ぽっぽの利用者の余暇時間が増え、今までこぶし園が使用していた「すてっぷはうす」を共用する形で使用してきましたが、専用施設でないため無理があること。また、グループホームの制度改正により運営方法が選択できるようになったことから、利用者にとってより暮らしやすい新しい形のグループホームへ段階的な移行を研究していくため、施設整備を進めるものです。

もう一点は、法人車両の増加、法人職員の増加、多目的施設の建設により、喬木支援センター付近の



駐車スペースが不足していることから、当面ぽっぽの建設予定地を駐車場として使用し、また出入りがしづらい支援センター前の広場を一面化し、スペースの確保と有効活用を図っていくものです。

多目的施設は、グループホームいちょうの前庭に建設し、年度内に完成する計画です。ご理解のほどよろしくお願い致します。



## 戸建アパートを利用したグループホーム

法人6番目のグループホームとして、アパートを利用したグループホームがスタートしました。

このほど豊丘村田村にある戸建アパート(辻元治さん所有)が借りられることとなり、グループホームとして利用できるよう改造を加え、整備をしてきました。ここには法人内施設を利用しているお2人に利用していただき支援していくものです。

## 人事異動をお知らせします

【退職】 グース支援員 近松幸彦(8/31)、ヘルパーステーション生活支援員 河西美津恵(10/31)

【異動】 10月1日付 ( )内は旧任  
グース児童発達支援管理責任者 越野俊子(グース指導員兼相談支援専門員)、グース児童発達支援管理責任者補佐兼相談支援専門員 大平陽子(グース指導員兼相談支援専門員)、ヘルパーステーションサービス提供責任者 春日恵子(グース支援員)、第二こぶし園生活支援員 湯浅香里(第二こぶし園主任調理員)、第二こぶし園調理員 片桐緑(第二こぶし園事務員)、こぶし園主任調理員 代田真

由子(こぶし園調理員)、はびねす主任世話人兼グループホーム世話人 本塩直美(グループホーム世話人)

【採用】 グース指導員 鳥海美穂(8/3)、パドルダック支援員 河合和枝(8/18)、パドルダック保健師 盛恵美(8/26)、ヘルパーステーションヘルパー 宮澤朋子(9/1)、こぶし園支援員 宮澤章治(11/1)

## 葉牡丹の販売

こぶし園では、今年も葉牡丹を販売しています。1鉢800~1,000円です。



法人研修会

# 今回は、利用者の性について再確認

研修委員会では法人研修会を8月30日に豊丘村のゆめあてを会場にお借りして行いました。参加者は約60名で、はじめに昨年同様法人内の事業所紹介を行い、そのあと「性に関しての意識を変えよう!」をテーマに駒ヶ根市のNPO法人WN(ワン)ライフ・ながの代表で保健師の北原慶作さんから講義を受けました。

法人の職員は年齢層が幅広く、性教育について最近勉強をされた方、あれから何十年〜♪といった色々な方がいることから、まず情報の統一を図るため、現在の性教育の実際について講義を受けました。

その後「こんな時、あなたはどうしますか?」ということで、4~5人のグループに分かれ、「ロールプレイ・グループワーク」を行いました。講師が設定した様々な場面でのどのような支援ができるのか、どんな声掛けが良いのかを考えました。そのあといくつかのグループには話し合った内容を発表していただきました。



発表して下さった方々は、実際の場面が目に見えようように熱演してくださいました。

参加者からは「性については避けて通りがちだが、人間として当たり前のこと支援することは人権を守ること」「なぜ、そのような行動をするか利用者さんとのかわりをもっと大切にしたい」などの感想が寄せられました。

## 防災備蓄品倉庫を設置



安全委員会では、このほど緊急時の防災備蓄品を保管する倉庫を、グ

ループホームはびねすの玄関前に設置しました。

この倉庫は2坪の広さで、断熱構造となっています。保管する備品は発電機、照明器具、簡易トイレ、シート、調理用具などで、食品関係は別保管とする予定です。これら備品は安全委員会が中心となり、さらに今後購入整備を進めていきます。また整備後は定期的な点検が必要な備品もあり、管理規定を設ける予定です。



こぶし園 第二こぶし園

## イワナやアマゴを釣り放題 塩焼きにして五平餅と一緒にいただきました

阿智村 浪合

11月11日は、昨年に引き続き、今年も阿智村浪合の釣り堀「車屋」さんのご厚意によりこぶし園・第二こぶし園・飯田養護学校実習生の総勢約90名にお魚代金無料の釣り体験をさせていただきました。月に一回ある、こぶし園の「しあわせの会」と第二こぶし園「事業所の日」合同の企画で、晩秋の紅葉狩りを兼ねた行事でした。



お昼は釣った魚を塩焼きにし、西部地区独特の草履五平餅を炭火で

焼いていただきました。

昨年は魚が飽食気味でなかなか釣れなかったのですが、今年は釣り上げての歓声をあちこちから聞くことができ、お魚との格闘に大満足でした。もちろん五平餅も塩焼きもおいしくいただきました。



# 第6回 こぶしまつり コンパクト=一体で盛り上がり

こぶし園と第二こぶし園では第6回こぶしまつりを、10月10日に行いました。無理なく、しかもみんなの最大のおたのしみイベントとなるよう準備してきました。秋の深まりを感じつつ、コンパクトとはいえ保護者の皆様やボランティアの方々のご協力を得て、盛大に「こぶしまつり」が行えたことを、この場を借りて御礼申し上げます。

昨年に続きコンパクトなおまつりを企画させて頂きましたが、その分、参加される皆さんとの一体感が持て、さらに楽しみが共有できるよう準備を進めてまいりました。

当日は、保護者会による「ヤングマン」を会場全体で大熱唱☆ 次に事務長の太倉さんを始めとする「DBG よしみバンド」の演奏!金管楽器の迫力ある演奏に大きな歓声があがりました♪ また、楽器当て、曲当て?クイズで、会場が一体となり盛り上がりました♪

午後は恒例の「カラオケ大会!」それぞれの班で、練習を重ねた迫力ある歌や、ユーモア溢れる歌など各班の色が良く出ていました。そして、最後は「くじ引き大会!」こぶし園の製品や豪華景品がドド〜と振る舞われました☆

今年も楽しいおまつりが出来たこと、嬉しく思います。係から感謝をこめて(#^.^#) (櫻田)



## ぽっぽあーと 新たに「笑みの里」、「かざこしの里」で開催

今年、初めて『笑みの里』(8/24~9/14)と『かざこしの里』(9/28~10/15)で“ぽっぽあーと展”を開催しました。



『笑みの里』は、今年開所したばかりの新しい特養で、アート展示の為のギャラリーもあり、そこに書の作品14点を飾らせていただきました。

『かざこしの里』では、広い室内に書の作品27点と、折り紙作品を飾ることができました。

ぽっぽの皆さんと見学に出かけましたが、スタッフの方は親切で、おいしいコーヒーやお茶をいただき、ゆっくり過ごして来ることができました。

どちらも素敵な施設でした。

来年、開催の時にはぜひ皆さんも足を運んでください。



## グース 夏休み プール遊びや流しそうめん

今年の夏休みも太陽の下でたくさん遊ぶことが出来ました!! 午前中は「お散歩チーム」と「のんびりセンターチーム」に分かれて活動し、午後からは全員で養護学校のプールへ出かける…という夏の定番スケジュールでした。

プールの中では思い思いに遊んでいましたが、時には誰からともなくつながって長〜い「水中トレイン」が出来ることも(^o^)! みなさん笑顔いっぱいでした。

最終日にはこちらも定番「流しそうめん大会」。準備

の段階からそれぞれ得意なことをお手伝いしてくれみなさん大活躍☆流れてくる食材もグースオリジナルで、ミニトマトやチーズ、ウズラの卵など盛りだくさん♪おなかいっぱい食べて、みんなでいっぱい笑って…楽しい夏の終わりとなりました。



**パドルダック アイビス** **根羽村カエル博物館** **駒ヶ根高原**  
**めずらしいカエル、あめたろうを体験**



パドルダックとアイビスでは、8月4日に根羽村のカエル博物館へ行ってきました。沢山の蛙の中にワンワンと鳴く珍しい「ネバタゴガエル」がいました。テレビで紹介された映像が放映されており、その鳴き声を聞くことができました。参加者はヒキガエルに触ったり、餌付けを体験したりもしました。帰りの車の中では「本当にワンワンって聞こえたね。」「遠かったけどきてよかった!」などの声が聞かれました。

また、9月26日にはパドルダックのバギー組が駒ヶ根方

面へお出かけしました。

お家の人や学校で出かけることはあっても、友達のお出かけはなかなか機会のなかった重心の利用者さん、今回は看護師同行で外食もしました。

まずは駒ヶ根高原の「あめたろう」を体験。「あめたろう」とは、降雨量を車内で体験できる赤い乗り物です。座席に乗ってさあドキドキ。時々水に濡れることもありましたが、地味でも楽しい体験ができました。

お昼は「菜々ちゃん」にてバイキング。あれもこれもと山盛りのごちそう、ペーストにしてしっかり頂きました。



**ぼっぼ** **イルカのジャンプに歓声** -in名古屋港水族館



ぼっぼでは9月25日(金)に名古屋港水族館へのバス旅行を行いました。朝から雨がシトシトの状態。ぼっぼの旅行では初めての雨でしたが、水族館

へ到着する頃には小降りに…(´▽`)

到着してすぐにイルカプールへ移動しイルカショーを見学しました。イルカのジャンプに「おー!!」の歓声。ショーを満喫した後は、班ごとに分かれてお目当ての場所へそれぞれ移動し見学をしました。参加者にはペンギンプールが大人気で、みんな座り込んでじっくりと楽しみました。

お土産を買い、帰りのバスの中ではカラオケを楽しみ、元気いっぱいぼっぼへ帰ってくることができました。

**こぶし園 第二こぶし** **園旅行 希望の3コースで旅満喫**

**A 思いっきり動いて遊ぼう**

USJユニバーサルスタジオジャパン



**B ゆったり、のんびり**

富士サファリパーク、リニア、温泉



**C 日帰りで楽しもう**

鈴鹿モートピア(遊園地)



# 細きよすが 第4報 古代米(黒米)

## 選別を終えた古代米

写真はもみすりを終えた玄米から不良米を取り除いて選別しているところです。一粒一粒をピンセットで拾い出すので、なかなか大変な仕事です。



選別を終えた黒米が上の写真です。もち米の一種で、古代ではこの米が主流であったともいわれています。以前は天竜端の水田で栽培していたのですが、温暖化による高温障害のためか、真っ黒い米にならず、栽培をあきら

めかけたのですが、標高の高い地区で栽培したところ写真のような黒米ができるようになりました。黒米は古代米とも言われていますが、健康食品ブームでなかなかの人気商品となっています。



## SONNへ5人のアスリート参加 高度なテクニック発揮



スペシャルオリンピックス日本・長野いいだプログラムも、今年で10年目を迎えました。

こぶし園からは5名のアスリートが参加し、フロアホッケーとテニスに分かれ練習に汗を流しています。回を重ねるほどに、素早い動きや対戦相手のスティックを打ち払う高度なテクニックを身につけ、相手チームに迫ってゴールを決めた瞬間のガッツポーズには、こぶし園のアスリートらしさがあふれています。

今日もまた、参加者全員が円陣を組み、エスオーコールを広い体育館内に響かせています。



## 地震や土砂災害を想定し 避難訓練を実施

グースでは年2回「地震」「火災」を想定した避難訓練を実施しています。

今回は「地震」を想定した避難訓練を10月に行いました。笛を合図に隠れることができる人は机の下へ。車いすの利用者さんにはスタッフがつき座布団などで頭部の保護。その間に非常口の確保と、全員防災頭巾またはヘルメットをかぶり、人員確認後にぽっぼの建設予定地まで避難をする…というものでした。

学校でも訓練を経験していることや、グースでも毎年実施していることから、みなさん大変落ち着いて行動することができました。

いつ起こるかかわからない災害…常に頭の片隅において“いざ”という時にも落ち着いて避難できるようにしておきたいと思います。

ぽっぼでは9月2日に防災訓練を行いました。

今回は、集中豪雨による土砂災害を想定した訓練でした。

いつもと違う避難方法で、車に乗り高台に避難する経路でしたが、利用者さんも慌てることなくスムーズに避難することが出来ました。

当日は晴天で霧囲気が全く逆でしたが、みなさん真剣に取り組まれました。



## 保護者の広場

## 熊谷精機(株)で頑張る山田修司さん

こぶし園から就職された山田修司さん(48歳)は、豊丘村河野に住宅を構え、現在豊丘村にある熊谷精機(株)で活躍しています。週1回のヘルパー派遣を利用し、休日には趣味の卓球や庭を利用した野菜作りに励んでいます。今回障がいを持ちながら自立した生活を送る山田さんを熊谷精機(株)熊谷社長さんから紹介していただきました。



熊谷精機(株)代表取締役  
熊谷茂さん

こぶし園出身の弊社社員、山田修司君の紹介をさせていただきます。

弊社は、平成19年5月に飯田市松尾から豊丘村神稲の伴野工業団地に移転して参りました。昭和36年の創業以来、金属のプレス加工及び金型の設計製作を生業として、主には自動車部品の製造を行っている総勢23名の会社です。

山田君は、平成20年8月、こぶし園さんのご紹介で正社員として入社され、以来「貴重な戦力」として、毎日元気に働いてくれています。最初は慣れない仕事で戸惑いもあったと思いますが、何事にも一

所懸命に取り組み、今では「この仕事は、山田君に任せれば間違いない」という仕事も多く、日々活躍しています。

毎年、全社員の投票による「優秀社員賞」の表彰において、必ずベスト3までに入賞されますが、それは日頃の山田君の姿に、他の社員が皆感銘を受けているからにほかなりません。

これからも、仕事にそして趣味の卓球に「一所懸命」頑張っ、健康で益々活躍してくれることを願っています。



## 利用者さんの横顔

## グース

しゅや たくむ  
渋谷 拓夢さん



現在高等部3年生の渋谷拓夢さん。グースのウェルカムボーイとして毎日玄関で行きかう人に元気に挨拶をしたり、お友達のお迎えが来たことを知らせてくれます。お喋りも大好きで、いつも周りを明るくしてくれています。

スタッフ「好きなものは何ですか？」

拓 夢「エネオス！（電光掲示板）お友達、信号、センター（グース）好き！」

スタッフ「得意なことは何ですか？」

拓 夢「うーんと…あっ！おーい！！○○さん！ケータイ！ケータイある！！（忘れてるよ）」

人をよく見ていて、几帳面な性格の拓夢さん。人の忘れ物や新しい物にもよく気が付き、スタッフを助けてくれます♪毎日ニコニコなウェルカムボーイ☆拓夢さんにぜひ声を掛けてください。（村澤）

## こぶし園

おおはら こうじ  
大原 弘次さん



「皆さん！！元気ですか～！？」と毎朝マイク片手に挨拶、元気に「こぶし園」で仕事をされている大原弘次さんです。弘次さんは平成15年4月からこぶし園を利用され、椎茸班や竹班で仕事をしてきました。今は自主製品班に所属し、畑や椎茸の仕事をしています。また、黒にんにくを作っている会社にも仕事に出かけ、皮むきや、にんにくを分ける仕事をしています。

弘次さんは歌が大好きです。特に好きな「氷川きよし」の歌を披露してくれます。新しい曲も覚えてCDをかけながら元気な歌声を響かせています。それでは、最後に弘次さんから皆さんへ・・・「おたっしゃでえ～！！ば～いば～い！！」＼(\*´▽`)ノ（小木曾）



## 職員の素顔

### グース

越野 俊子

(児童発達支援管理責任者)



まだ児童デイがこぶし園の敷地内にあった頃よりお世話になっています。

当時やんちゃな小学生が、今ではグループホームで暮らし、たまにお会いすると見上げるほどに背が伸び、素敵な大人に…あの頃が懐かしく思い出されます。自分もそれだけ年をとっているんだなあとつくづく思います。

私は観葉植物が好きで、店頭でピンとくるとつい衝動買いをし、家族に「置き場所がない!」と叱られています。今は30鉢くらいが居間にひしめきあっています。勢いのある緑の葉っぱは毎日私に元気をくれています♪

今、働かせて頂いているグース。利用者さんに“楽しい!”と感じてもらえるような場所であるように頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

### こぶし園

松下 広一

(職業指導員)



平成20年よりこぶし園に勤務しています。勤め始めたころは利用者さんの顔が同じに見え、名前を覚えるのに苦労しました。若い職員からもアドバイスを受たり、相談に乗ってもらい何とか今までやってこられました。

私は主に農業全般の指導を任されてきました。特に夏のアスター作り、葉牡丹、古代米に苦労しています。というのも温暖化による気象の変化です。種を蒔く時期を調整していますが、盆花はいつも早く開花してしまい、葉牡丹は「とよおかまつり」に間に合わせたくても、色が付かなかったり、結球が進まず苦労します。古代米も黒色が出ずなかなか難しいものです。今年は場所を中段地帯に移し、何とか黒色が出るようになりました。

これからも支援・指導に頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

## 職員の動き



### ぽっぽ

支援員

宮崎 留美

4月からぽっぽでお世話になっています。今までは就労移行支援の仕事をしていました。初めは就労とのギャップに戸惑う事ばかりでしたが、先輩スタッフの利用者さんとの関わり方etcを学ばせて頂き、徐々にその技術を盗んできています。(笑)

今は利用者さんの笑顔やお話、書に囲まれ、楽しい毎日です。同時に勉強の連続でもあります。時には立ち止まり、今を見つめる心のゆとりを持ち、笑顔で前に進んで行きたいと思いますのでよろしくお願い致します。



### グループホーム

世話人

本塩 直美

長い間、重心の息子共々パドルダックにお世話になり、沢山支えていただき感謝しています。突然息子を亡くし呆然とする中、パドルダックの池田さんにグループホーム「はびねす」での仕事のお誘いをいただき、ありがたくお受けしました。

息子が教えてくれた大切な想いを常に心におき、それらを生かしながら、笑顔で♡、支援者として良き成長をしていけるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。



現代人はパソコンやスマートフォンなどの影響により“猫背”になりやすく、そこから肩こりや頭痛などを引き起こすことがあるとか…私も猫背で頭痛もちです。下ばかり向いては大切なものは何一つ見えません。せつかく景色のきれいなこの季節。背筋を伸ばして胸を張り、上を向いて毎日笑顔で過ごしていきたいですね。“脱☆猫背”頑張ります。(グース 村澤梢)